

開講科目名 Course	経営戦略論研究（B） / Strategic Management（B）
時間割コード Course Code	13950
開講所属 Course Offered by	会計学研究科博士前期課程 /
開始年度・学期 Start Year・Semester	2022年度 / Academic Year 後期
曜限 Day, Period	金 / Fri 4
開講区分 semester offered	後期 / .
単位数 Credits	2.0
学年 Year	1,2
主担当教員 Main Instructor	松井 義司
科目区分 Course Group	関連科目
教室 Classroom	6 4 C 演習室
講義形式 Lecture Style	講義科目
担当教員名 Instructor （担当教員所属名 Affiliation）	松井 義司（経営学部）
授業の目標	各自の研究テーマに関連した先行研究についての理解を深める。
授業の概要	前期の経営戦略論研究（A）は講義形式で様々な戦略論の紹介を行うが、後期の経営戦略論研究（B）では、各自が執筆する研究ノートに関連のある研究を選び、レジュメを作成し、毎回報告を行う。この演習で用いる2つのテキストの1つの章が、執筆中の研究ノートに関連した論文を1つを選び、毎回報告する。
評価方法	毎回の演習での報告。
教員の指導に従わない以外の事由による失格基準	5回以上報告を行わない。
授業計画	第1回 イン트로ダクション（各自の研究テーマを確認） 第2～15回 各自が自身の研究テーマに関連した研究についてレジュメを作成して報告。
テキスト	『戦略サファリ（第2版）』ヘンリー・ミンツバーグなど、東洋経済新報社、2013年。 『経営戦略原論』琴坂将広、東洋経済新報社、2018年。
参考書	なし。
アクティブラーニング、ディスカッション、実習等	含まない
アクティブラーニング、ディスカッション、実習等の内容	毎回の演習はディスカッション形式で行う。
実務経験のある担当教員による授業	該当しない
担当教員の実務経験を活かした授業の内容	教員は電機メーカーに勤務し、中東・ロシア・インドに駐在するなど、主に新興国の市場開発に従事して来た。実務と理論の両方の視点から、学生と企業活動について考えて行きたい。
質問への対応方法	演習中に質問への対応をする。
フィードバックの方法	各自の報告は演習中にコメントをする。
予習・復習等、準備学習の内容及び時間	毎回の演習では必ず報告内容のレジュメを事前に作成する。
使用言語	日本語
SDGs 17の目標（1～10）	
SDGs 17の目標（11～17）	
PROGリテラシーの要素	
PROGコンピテンシーの要素	